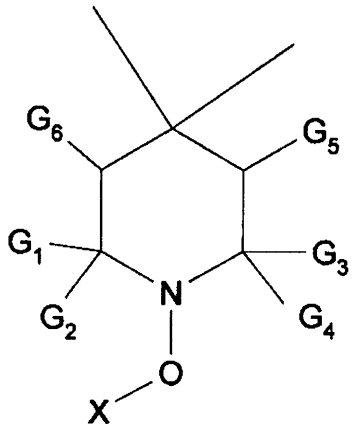
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2002-524590(P2002-524590A)
【公表日】平成14年8月6日(2002.8.6)
【出願番号】特願2000-568890(P2000-568890)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ 291/00 (2006.01)
Ｃ０８Ｆ 4/04 (2006.01)
Ｃ０８Ｆ 4/32 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ 291/00
Ｃ０８Ｆ 4/04
Ｃ０８Ｆ 4/32

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月10日(2006.8.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　第一段階Ａ）において、安定なニトロキシル基がポリマーにグラフトされ、該段階はポリマー、および基（＝ＮＯ－Ｘ）（式中、Ｘは、ポリマーの溶融温度付近でＯ－Ｘ結合の開裂が生じ、そしてラジカルＸ・が形成されるように選択される。）を含むニトロキシル－エーテルを加熱することからなり、そして
第二段階Ｂ）において、段階Ａ）のグラフトポリマーは、エチレン系不飽和モノマーまたはオリゴマーの存在下において、ニトロキシル－ポリマー結合の開裂が生じ、そしてポリマー性ラジカルにおいてエチレン系不飽和モノマーまたはオリゴマーの重合が開始される温度まで加熱され、前記温度を更なる重合のために維持し、そしてその後該混合物を６０℃以下の温度まで冷却する、グラフトポリマーの製造方法。
【請求項２】　ニトロキシル－エーテルが次式（ＸＸＸ）
【化１】



(XXX)

（式中、G_1、G_2、G_3、G_4は独立して炭素原子数１ないし６のアルキル基を表すか、あるいはG_1およびG_2、もしくはG_3およびG_4、またはG_1およびG_2ならびにG_3およびG_4

は一緒になって炭素原子数５ないし１２のシクロアルキル基を形成し、
G_5、G_6は独立して水素原子、炭素原子数１ないし１８のアルキル基、フェニル基、ナフチル基またはＣＯＯ炭素原子数１ないし１８のアルキル基を表す。）で表される構造要素を含む請求項１記載の方法。
【請求項３】　請求項１の段階Ａ）に従って得られるポリマー性ラジカル開始剤。
【請求項４】　請求項１の方法の段階Ａ）およびＢ）に従って得られるポリマー。
【請求項５】　ラジカル重合のための高分子開始剤としての請求項１の段階Ａ}によるグラフトポリマーの使用。
【請求項６】　請求項１の方法に従って得られたポリマーの、ポリマーブレンドのための粘着剤または相溶剤としての、またはポリマー強化剤としての使用。